

【資料6】※アンケート結果は2頁以降

「高等学校における新しい授業の在り方」調査研究のためのアンケート

1. 基礎データ(学校・課程・学科等)

- 問1 学校名を記入してください。
 問2 課程を選択してください。
 問3 学科を選択してください。
 問4 来年度(H25年度)入学生の定員は何名ですか。
 問5 来年度(H25年度)の英語科教員(講師を含む)は全部で何名ですか。
 問6 来年度(H25年度)の第1学年割当の教員(英語科)の予定数は何名ですか。

2. 「新課程」の編成について

- 問7 来年度(H25年度)入学生の1年次の英語の教育課程はどのような編成になっていますか。
 問8 問7のような編成にした理由を簡潔に述べてください。

3. 英語科教科会について

- 問9 学校の英語科教科会としての指導方針(指導目標)について。
 ア 教科会全体の指導方針があり、毎年確認して指導している
 イ 教科会全体の指導方針は一応策定している
 ウ 教科会全体の指導方針まではないが、指導の一部においては共通の方針を持っている
 エ ア、イ、ウのようなものはなく、各教師で行っている
 問10 生徒の3年間(あるいは4年間)を見通した段階的目標を設定していますか。
 ア おおよその最終的な目標を設定している
 イ 短期的な目標を設定している
 ウ 設定してはいるが、あまり活用されていない
 エ 特に設定していない

4. 「4技能の総合的指導、統一的活用」について

- 問11 4技能の各指導のうちで、3年間を通して、最も時間をかけて指導している技能は何ですか。
 ア reading イ listening ウ speaking エ writing
 オ 全ての技能(あるいは複数の技能)の指導におおよそ同じくらいの時間をかけている
 問12 4技能の指導上、最も困難さを感じる指導は何ですか。またその理由は何ですか。
 ア reading イ listening ウ speaking エ writing オ 特にない
 ※「困難さを感じる」理由は?
 問13 新学習指導要領では、「4技能の総合的指導、統一的活用」を図るような授業が求められています。現段階で、「4技能」を意識した授業設計を立てていますか。
 ア 常に立てている イ 授業内容によっては立てている
 ウ あまり意識して立てていない エ どのように立てればよいかわからない
 問14 平成25年度からの授業で、「4技能の総合的指導、統一的活用」を図るような準備を進めていますか。
 ア 教科会全体で進めている イ 一部進めている
 ウ 誰も進めていない エ どのように進めればよいかわからない
 問15 平成25年度からの授業において、「4技能の総合的指導、統一的活用」を図るような授業を意識して組み立てていく必要があると考えますか。
 ア 必要がある イ 既に取り組んでいる
 ウ 必要ない エ 特に考えていない
 ※ウ「必要ない」と回答した場合の理由

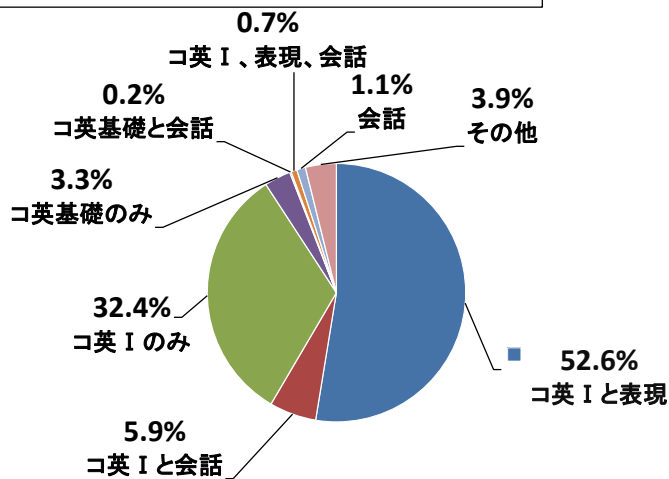
5. 「英語の授業は英語で行う」について

- 問16 現在の授業は、英語で行っていますか。
 問17 英語で授業を行うとき、どのようなことに気を付けていますか。(回答者の考えでかまいません)
 問18 新学習指導要領の「英語の授業は英語で行う」の意図している授業とは、どのような授業だと考えますか。具体的に記述してください。(回答者の考えでかまいません)

6. その他

- 問19 今後、新学習指導要領が求める授業改善(「英語の授業は英語で行う」ことを除く)をしていく上で、支障となることがありますか。あれば、それはどのようなことですか。
 ア ある ※ア「ある」と回答した場合の内容 イ 特にない
 問20 現在、リスニングテストやスピーキングテストを評価の材料に加えていますか。また、どのようなスピーキングテストを行っていますか。
 ア リスニングテストだけを加えている イ スピーキングテストだけを加えている
 ウ 両方とも加えている エ どちらも加えていない
 ※スピーキングテストの内容(簡潔に)
 問21 文部科学省初等中等教育局国際教育課外国語教育推進室から送付された「高等学校版新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践映像資料1・2・3」や「Broaden Your Horizons with English! —英語を使って羽ばたくたく日本人—」を教科会や個別で視聴しましたか。
 ア 視聴し、参考になった イ 視聴したが、参考にならなかった
 ウ 視聴していない エ 存在を知らない

問7 『『新課程』編成：科目の組合せ』(1年次)



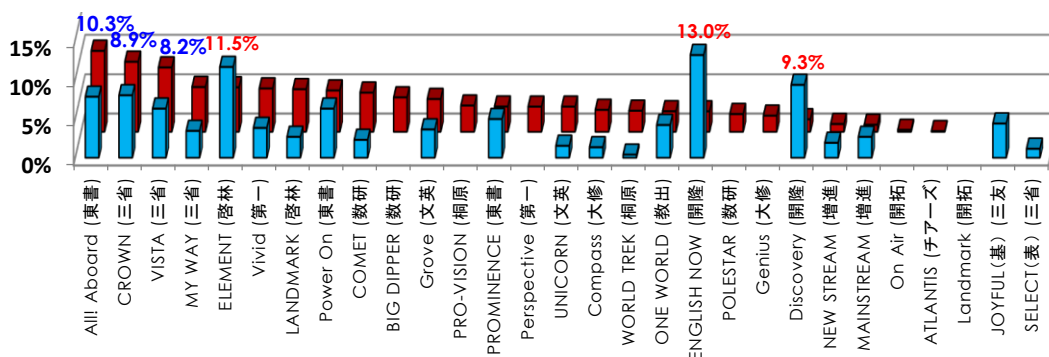
組合せ	人数	%
英語 I と表現	5720	52.6%
英語 I と表現 と 英語 I と会話	640	5.9%
英語 I と表現 と 英語 I と会話 と 英語 I のみ	360	3.3%
英語 I と表現 と 英語 I と会話 と 英語 I のみ と 英語 I と表現 と 英語 I と会話	20	0.2%
英語 I と表現 と 英語 I と会話 と 英語 I のみ と 英語 I と表現 と 英語 I と会話	80	0.7%
英語 I と表現 と 英語 I と会話 と 英語 I のみ と 英語 I と表現 と 英語 I と会話 と 英語 I のみ	120	1.1%
その他	420	3.9%

問8 「編成の理由(主なもの)」

- 現行の教育課程からスムーズな移行にするため
- 基本的な英語力をつけるため。
- 学校の実情に合わせるため。
- 新学習指導要領に則って。

※編成の理由として、ほとんどの学校が「現行の教育課程からの移行がスムーズに行いやすい」ことを理由にあげている。また「英語の基礎力をつけるためにはどのような教育課程にした方が良いか等を考えて編成した」との回答が寄せられている。

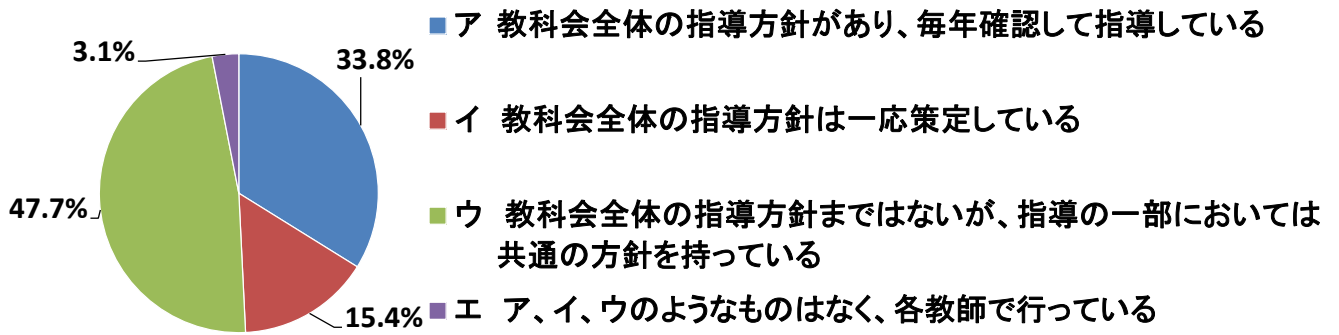
○ 教科書採択需要 ■ 県内需要率(対県内需要数) ■ 全国需要率(対全国需要数)



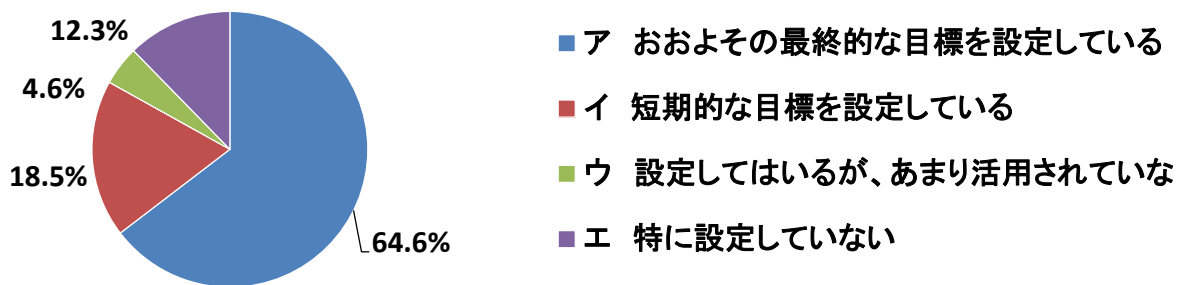
コミュニケーション英語 I		全国需要数	全国需要率	県内需要数	県内需要率
All Aboard !	東書	125,441	10.3%	820	7.8%
CROWN English	三省	108,527	8.9%	840	7.9%
VISTA English	三省	99,711	8.2%	660	6.2%
MY WAY English	三省	69,404	5.7%	360	3.4%
ELEMENT	啓林	68,936	5.6%	1,220	11.5%
Vivid English	第一	67,269	5.5%	400	3.8%
LANDMARK	啓林	66,027	5.4%	280	2.6%
Power On	東書	64,085	5.2%	660	6.2%
COMET	数研	60,728	5.0%	240	2.3%
BIG DIPPER	数研	53,372	4.4%		
Grove English	文英	50,855	4.2%	380	3.6%
PRO-VISION	桐原	40,655	3.3%		
PROMINENCE	東書	39,147	3.2%	520	4.9%
Perspective English Communication I	第一	39,018	3.2%		
UNICORN English Communication I	文英	39,013	3.2%	160	1.5%
Compass English Communication I	大修	33,999	2.8%	140	1.3%
WORLD TREK English Communication I	桐原	32,679	2.7%	40	0.4%
New ONE WORLD Communication I	教出	31,725	2.6%	440	4.2%
ENGLISH NOW I	開隆	31,670	2.6%	1,380	13.0%
POLESTAR English Communication I	数研	27,476	2.3%		
Genius English Communication I	大修	24,965	2.0%		
Discovery English I	開隆	19,355	1.6%	980	9.3%
NEW STREAM English Communication I	増進	11,982	1.0%	200	1.9%
MAINSTREAM English Communication I	増進	10,834	0.9%	280	2.6%
On Air English Communication I	開拓	2,891	0.2%		
ATLANTIS English Communication I	チアーズ	909	0.1%		
Landmark English Communication I	開拓				
JOYFUL English コミュニケーション英語基礎	三友			460	4.3%
SELECT English Conversation	三省			120	1.1%

※1年次に「英会話」、2年次で「コミュニケーション英語 I」を履修

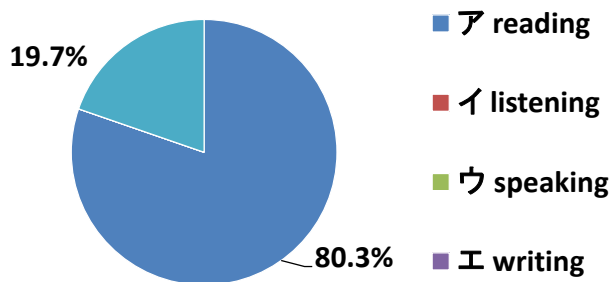
問9 「英語科指導方針があるか」



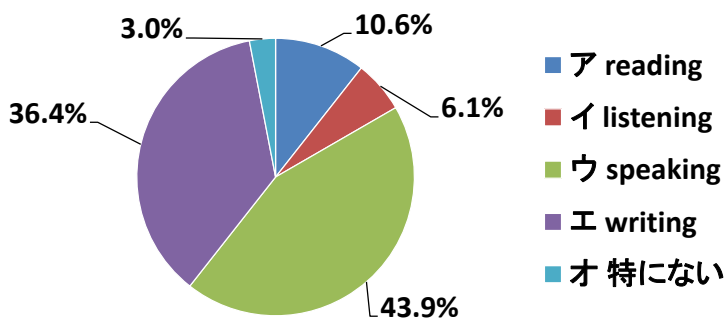
問10 「3年間の見通しがある指導をしているか」



問11 「最も時間をかけて指導する技能は」



問12 「最も指導に困難さを伴う技能は」



【困難な理由】

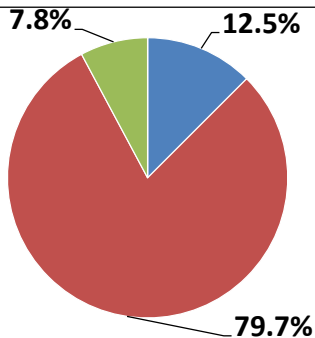
○ speaking と writing を併せて約80%が、最も指導が困難であると回答している。

その理由として、

● speaking では、「有効な指導方法を持っておらず、時間的な制約もあって、個々の生徒に効果的なフィードバックが十分できない。」「生徒のモチベーションを上げることが難しい。」「基礎力不足で、単語を読めなかったり、人前で英語を話したがる。」「などが挙げられている。

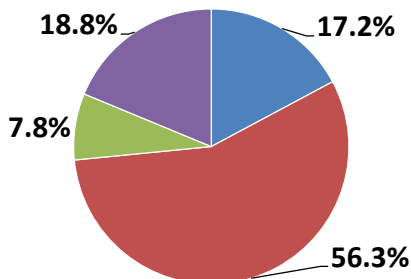
● writing では、圧倒的に「基礎的な文法力や語彙力の不足」が挙げられている。

問13 「4技能を意識した授業設計」



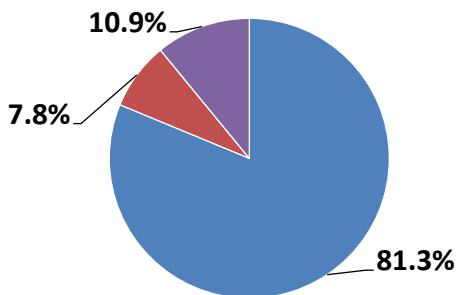
- ア 常に立てている
- イ 授業内容によっては立てている
- ウ あまり意識して立てていない
- エ どのように立てればよいかわからない

問14 「新課程での指導準備は」



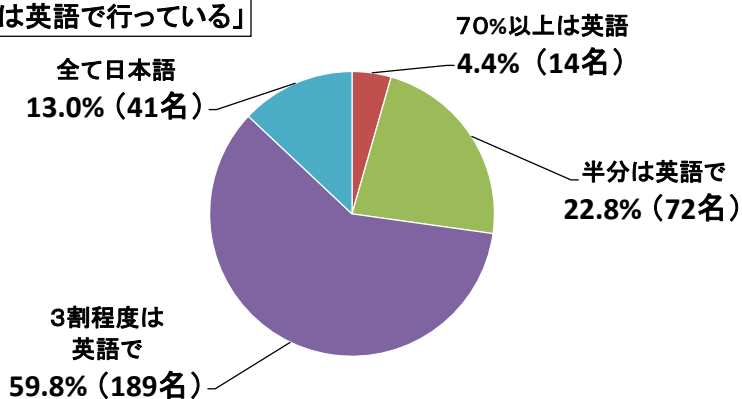
- ア 教科会全体で進めている
- イ 一部進めている
- ウ 誰も進めていない
- エ どのように進めればよいかわからない

問15 「4技能を意識した授業の必要性は」



- ア 必要がある
- イ 既に取り組んでいる
- ウ 必要ない
- エ 特に考えていない

問16 「授業は英語で行っている」



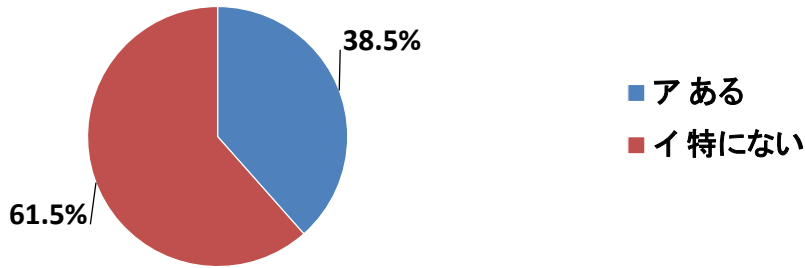
問17 「英語で授業をするとき、気を付けていること」

○ 生徒が理解しやすいスピードと難易度で、一方的な発話に終わらないようにする。平易な語彙を使い、生徒がわからなければパラフレイズしたり繰り返したりする。(※主な回答から)

問18 「『英語の授業は英語で行う』の意図しているご授業とは、どのような授業であるとお考えか」

- 積極的にコミュニケーションをとる場面を数多く与えながら、4技能のスキルを効率よく伸ばす授業。
- 生徒に英語を使わせ、教師は英語で長々と説明するというよりも、英語で指示したり支援したりする授業。
- 使える英語を身につけさせる授業。(※主な回答から)

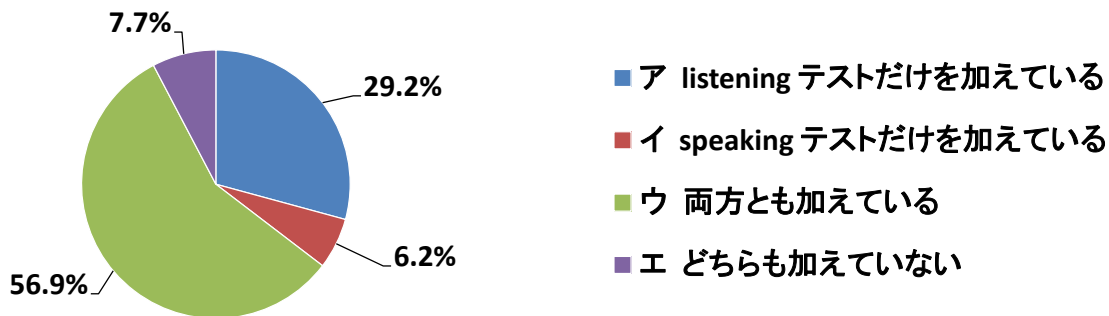
問19 「授業改善に支障となること」(「英語で授業」を除く)



問19の理由(主なもの)

- 英語科職員の共通理解(を求めにくい)。
- 日常的に使っていない言語において、文法などの知識なしで高いレベルまで引き上げることはできないと考える。
- 生徒の基礎力不足。
- 求められていることと大学入試の2次試験までをふまえた最終的な受験指導の内容とが直接結びつき難く難点である。新学習指導要領が求めるとおりの授業を実践できたとしても、限られた授業数と年数で大学入試に対応できる力を養成できるのか心配である。
- 生徒の中には、言語能力の低い生徒もいる。こうした生徒に理解してもらうには、日本語による説明が多くなることもやむをえないと思う。徐々に学力をつけるとともに達成感を身につけて、学習意欲を高めてから、英語の使用を増やしていくというやり方が効率的ではないかと思う。
- 商業科は一斉授業が大半であり、生徒の理解度をきめ細かく見極めるという点では、多少の困難を伴うのではないか。
- 新課程のすべての科目(2・3年次も含めて)の教科書が手元にないため、3年間を見通した計画が立てられない。

問20 ListeningやSpeakingの評価について



問21 「文科省配布のDVDを視聴したか」

